

チェーンソーの取り扱い方・実践編

宇佐美敦

静岡大学 技術部 フィールド支援部門

1. はじめに

フィールドや農学部関係の業務において、樹木等の伐採や手入れのためにチェーンソーを使用する場合があります。チェーンソーを扱う職場において、以前は無資格で従事するのも一般的であったが、近年は資格制度も徐々に認知・普及され、適切な管理と知識の元での使用が求められている。また、キャンパス勤務の職員には接する機会の少ないフィールド職員の業務や持っている技術について知識を得ることも、同じ組織で働いていく上で重要なことである。そこで、体験活動を通じて演習林のフィールド管理業務を学ぶこと、チェーンソーの基本的な取り扱い方や立木の伐倒方法を学ぶことを目的として研修を行った。

2. 内容

実際にフィールドに出向き、チェーンソーの基本的な取り扱い方と使用方法を確認してから、実践トレーニングを行う。また、チェーンソーによる立木の基本的な伐採方法も習得するため、伐倒方向を規制して引き倒す装置の使用方法などを学習した後、実践を行う。

3. 方法

研修日程は平成 29 年 2 月 14 日 (火)、会場は静岡大学農学部附属フィールド科学教育研究センター天竜フィールドを利用した。用具・装備類は、チェーンソー 2 台、ロープ等伐倒方向規制用具一式、ヘルメットや防護チャップス等安全装備一式を使用した。また作業効率と安全性を考慮し、作業班を二班に分けて研修を行った。

4. 結果

まず、現場でチェーンソーを動かしながら構造や取り扱いの説明や、基本的な使用方法を学んだ（**図 1, 2**）。それから、立木の基本的な伐採方法や伐倒方法を制限するための方法も学んだ（**図 3, 4**）。研修参加者は、一人につき一本のヒノキの伐倒作業を実際に行うことができた。また、切り倒した木を、基本的使用法で学んだことを生かしつつ造材することもできた。

5. まとめ

フィールド支援部門の演習林でのフィールド業務の一端について、実践を通じて学ぶことができた。また、以前に行われた研修の内容と連続性を持たせることで、チェーンソーに関する知識と基本的な技術の向上の一助となった。頻度は異なるものの農学部や藤枝フィールドではチェーンソーを使用する場面があるということで、それぞれの職場でも今後の業務に生かすことのできる内容となった。



図1 チェーンソー構造説明



図2 基本的な使用(円板切り)



図3 伐倒方向へ受け口作り



図4 伐倒方向規制ロープ上げ